

# 神奈川県庁の環境技術職

令和8年度神奈川県職員採用に向けた説明会



京浜臨海部（現在）



（昭和40年代）



環境技術職 (化学職)  
高瀬 悠多 副技幹

入庁 2010年 (現在16年目)

## 入庁後の主なキャリア

- ・ 横須賀三浦地域県政総合センター環境部に配属  
(2010年4月～)
- ・ 緑政部水源環境保全課に配属  
(2013年4月～)
- ・ 県央地域県政総合センター環境部に配属  
(2016年4月～)
- ・ 環境省水・大気環境局に出向  
(2019年4月～)
- ・ 環境部環境課に配属  
(2021年4月～)

# 環境技術職の主な業務分野

## 1 環境分野

- 公害対策
- 産業廃棄物対策
- 地球温暖化対策

## 2 工業保安分野

- 高圧ガス・火薬類の保安

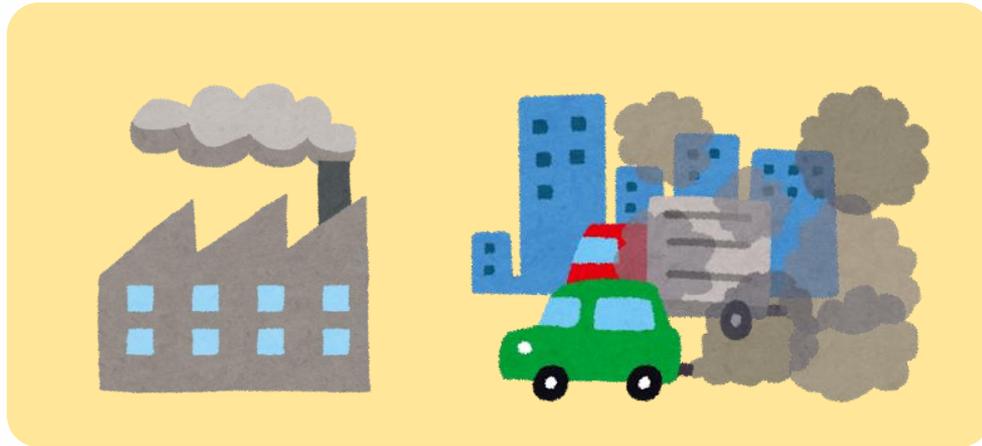
## 3 水道分野

- 県営水道

## 4 その他

- 水源環境保全
- 国・市町村派遣  
など

## 汚染物質・騒音等の発生



## 生活環境への影響



## 県の役割

- 条例改正・工場等の許可審査・立入検査
- 環境影響評価結果などの審査（環境アセスメント）
- 環境中の汚染物質の監視、調査研究
- 市町村支援

全国的にも  
先進的な取組

## 廃棄物処理の流れ

廃棄物の発生



運搬業者



処分業者

不適正

## 不法投棄・環境汚染



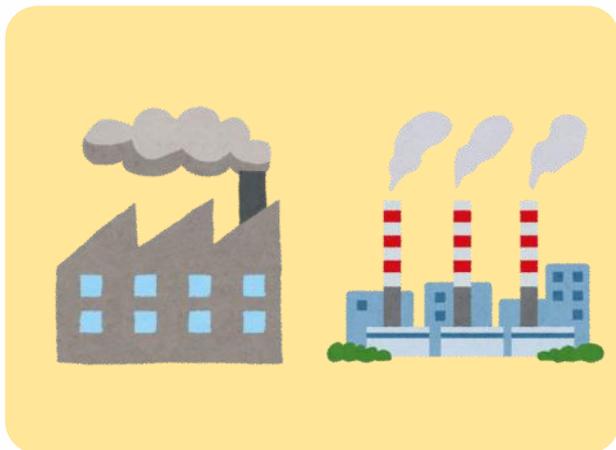
## 県の役割

- 産廃業者の許可審査・立入検査
- 不法投棄パトロール、行為者指導
- 適正処理、リサイクルの普及
- 県営の最終処分場の管理・運営



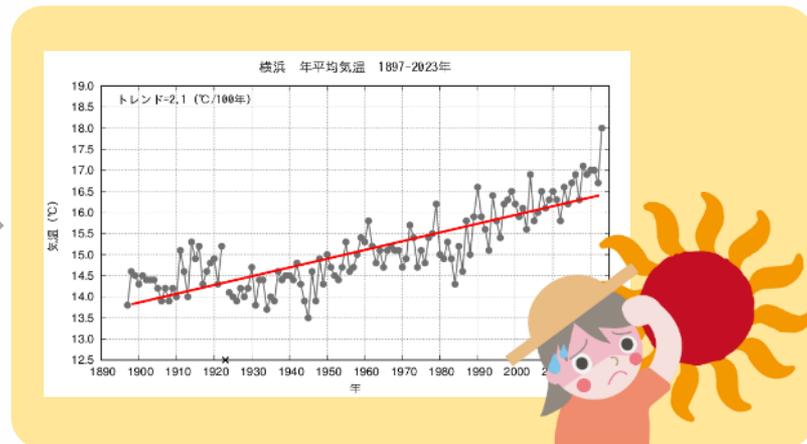
路上検査

温室効果ガスの排出  
(工場、家庭、車等)



地球温暖化  
の進行

猛暑や短時間強雨による  
土砂災害などが発生



グラフの出典：国立環境研究所気候変動適応情報プラットフォーム

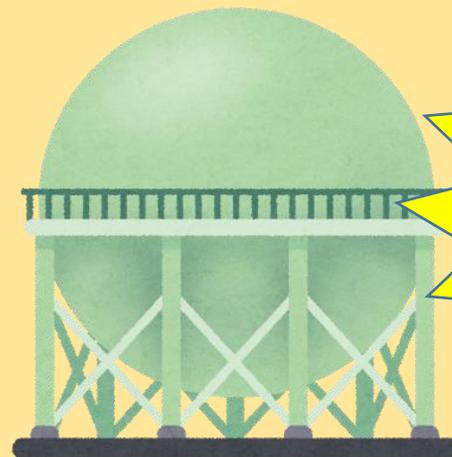
## 県の役割

- 県域の地球温暖化対策計画の作成・進捗管理
- 県民・事業者等の各主体への脱炭素支援・広報
- 気候変動の影響や将来予測、対策に関する情報収集・発信

製油所、化学工場 など  
(高圧ガスの製造、貯蔵)

火薬庫

(花火などの火薬類の保管)



事故時の  
影響 **大**

## 県の役割

- 事業所の規制・保安対策の審査
- 講習会、研修会の実施・講演
- 立入検査、事故調査



タンクローリーの検査

## 県営水道

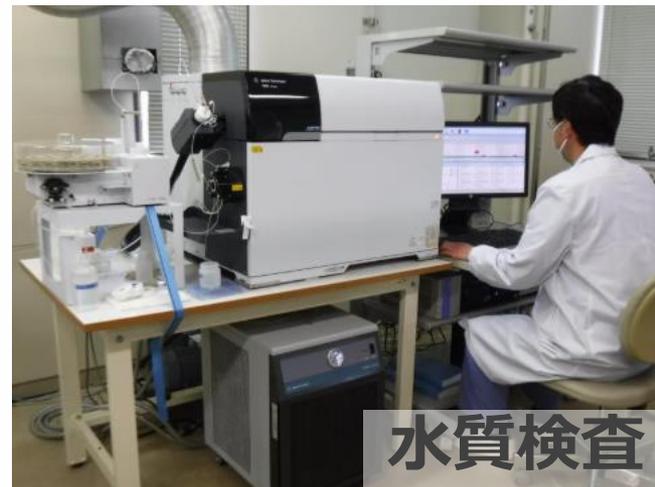
- 約280万人（県人口の約1/3）  
に対して水道水を安定供給



相模ダム

## 県の役割

- 水安全計画の推進
- 水質検査、水質事故対応  
(150項目以上の検査)



水質検査

- 森林の荒廃や、  
水源環境の負荷



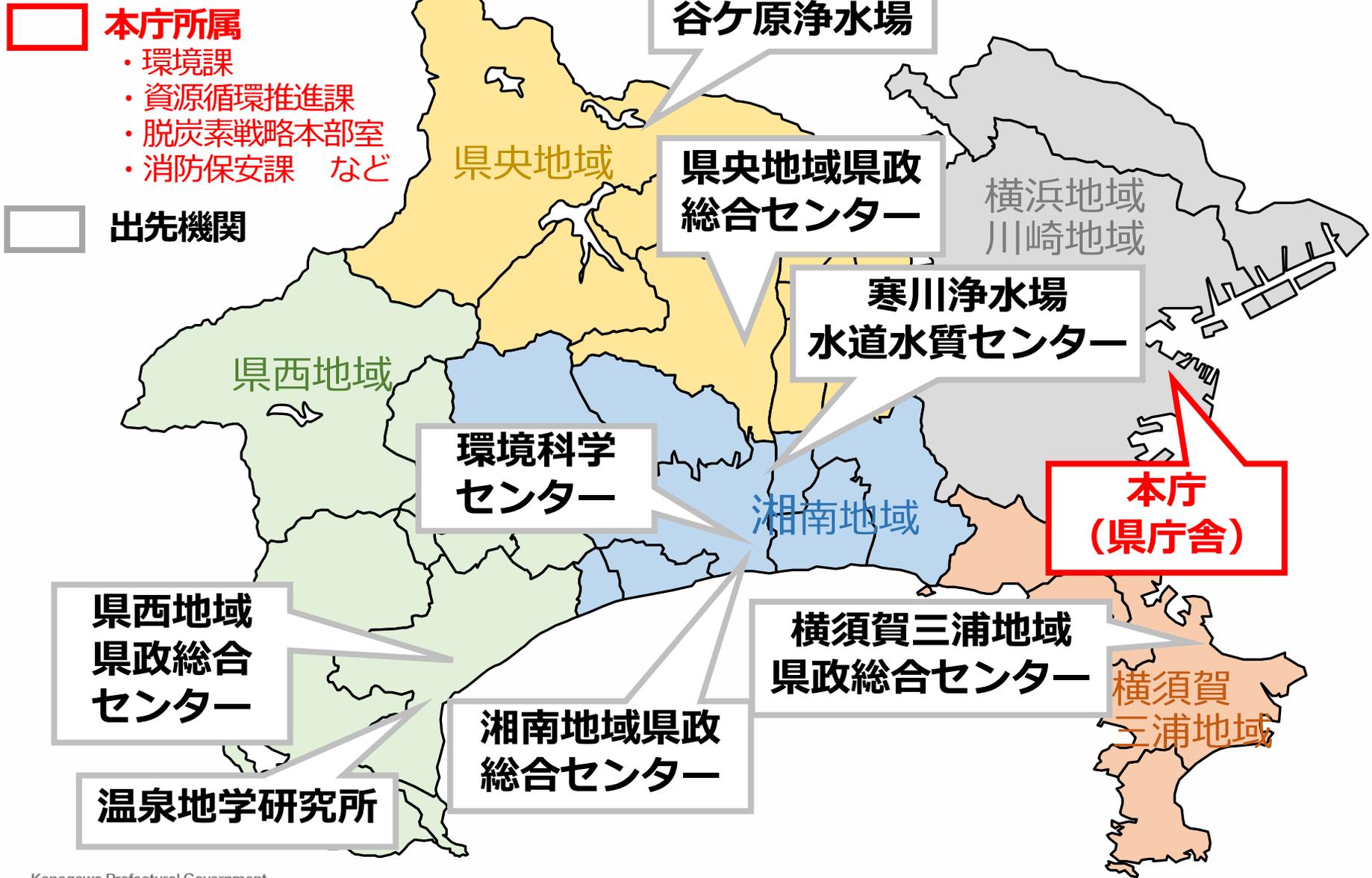
整備後

## 県の役割

- 将来にわたり良質な水の  
安定的確保
- 自然本来の水循環機能を  
保全し高める施策を実施



# 主な配属先の位置



# 仕事の進め方

## 担当業務

- 法律の種類や地区毎に担当者（主任・副主任）を決定
- 年間スケジュールに基づき計画的に検査等を実施
- 毎日のグループミーティングで進捗を管理
- 繁忙期には皆でカバー

## 横のつながり

- 困ったときはチャットソフトで、他所属の同僚にも相談

## スキルアップ

- 職員向け研修（法令・技術）で知識を習得
- 先輩職員によるOJT研修
- 国や関係団体の研修にも参加

## ワークライフバランス

- テレワークや時差勤務が定着
- 残業は原則事前申告  
（不急の業務は残業させない）

- 環境技術職の業務は、環境、工業保安、水道など幅広く、県民の安全・安心に直結する仕事
- 時代や環境の変化を踏まえ、適切に対応し、環境を守ることが使命